

農業農村整備分野に関する実務経歴書

氏名 _____

住所 _____

証明者 機関の住所 _____

_____ 機関の名称 _____

代表者の役職・氏名 _____ 印

勤務先名	業務内容	実務期間
計		年

〔記載上の注意〕
この実務経歴書は所属機関の代表者から公的に証明を受けてください。なお、**証明印のないものは無効**となります。
大学院修了者（修士課程・博士課程）は、大学院名、専攻コース名、修了年を1行目に記して下さい。
業務内容は、本人が従事した農業土木分野（用排水施設整備、農地整備、農道整備、農地防災保全、農村環境保全、施設管理、農村整備、その他農業土木に関する事項）の事業に関する調査、計画、設計、積算、施工、施工管理、施設管理等の実務経験です。
実務期間は、実務に従事した年度で記入する。（様式1号受験申込書の実務経験年数と同年数を記入）



農業農村整備分野に関する実務経歴書

氏名

住所

証明者 機関の住所

機関の名称

代表者の役職・氏名

印

指導業務者氏名

資格名

登録番号

指導業務者役職名

勤務先名	業務内容	実務期間	左の内業務指導者 の下での 実務期間
		計 年	計 年

〔記載上の注意〕

この実務経歴書は所属機関の代表者から公的に証明を受けてください。なお、**証明印のないものは無効**となります。業務指導者の氏名、有する資格名、登録番号、役職名を記載して下さい。**記載のないものは無効**となります。

大学院修了者（修士課程・博士課程）は、大学院名、専攻コース名、修了年を1行目に記して下さい。

業務内容は、本人が従事した農業土木分野（用排水施設整備、農地整備、農道整備、農地防災保全、農村環境保全、施設管理、農村整備、その他農業土木に関する事項）の事業に関する調査、計画、設計、積算、施工、施工管理、施設管理等の実務経験です。

実務期間は、業務に従事した年度で記入する。（様式1号受験申込書の実務経験年数と同年数を記入）。そのうち指導業務者の下で実施した業務の実務に従事した年度を合わせて記入する。



記入例

農業土木分野に関する実務経歴書

氏 名 _____
 住 所 _____

 _____ 名称 _____
 _____ 氏名 _____ 印

勤務先が変わった場合は、前勤務先における実務経歴を含め、**現在の勤務先の代表者の証明**を受けてください。

実務経歴がスタートした年。大学院修了は、1行目に大学院、専攻コース、修了年を記載してください。本記入例では、「省略」期間を除いた**10年間の実務経歴**が記載されている。

業 務 内 容	実 務 期 間
国営〇〇農水〇〇ダム実施設計	平成 2 年度
〇〇県営土地改良区用水路 ほ場整備基本計画他 5 件	〃
〇〇測量設計 (株) 〇〇支店	平成 15 年度
	平成 16 年度
	平成 17 年度
〃	平成 18 年度
	平成 19 年度
〇〇測量設計 (株) 〇〇支店	平成 20 年度
	〃
	平成 28 年度
〇〇県営土地改良区用水路 ほ場整備基本計画他 3 件	平成 29 年度
〇〇県営土地改良区用水路 ほ場整備基本計画他 3 件	平成 30 年度
	計 28 年

【記入の際の注意事項】
 ①実務経歴は1欄に1ヶ年分を記入し、実務期間が10年以上あることを分かるように記入してください。また、可能な限り新しい実務経歴を優先してお書き下さい。(書ききれない場合は、複数枚に記入してください)
 ②実務期間の合計年数を受験申込書(様式1号)の実務経歴年数に記入してください。(実際の実務経歴年数の合計)
 ③業務名で「農業土木分野の事業」であることや「業務内容」が判別し難い場合は、発注者(部署)および主たる業務の内容が分かるように記入してください。

実務経歴が10年以上ある場合でも、業務内容により経歴として認められない場合があることを想定して、多めにご記入ください。

入社してから昨年度までの**実務経歴年数**

印のないものは無効
 _____は、大学... _____目に記して下さい。
 農業土木分野(用排水施設整備、農地整備、農道整備、農地防災保全、
 農林整備、農村整備、その他農業土木に関する事項)の事業に関する調査、計画、設計、積算、施工、施工管理、施設管理等の実務経歴です。

・実務期間は、実務に従事した年度で記入する。(様式1号受験申込書の実務経歴年数と同年数を記入)

記入例

農業土木分野に関する実務経歴書

氏名 _____

住所 _____

指導業務者氏名 _____

資格名 _____

登録番号 _____

指導業務者役職 _____

証明者 機関の住所 _____

機関の名称 _____

代表者の役職、氏名 _____ 印

勤務先名 _____ 実務期間 _____ 指導業務者の下での実務期間 _____

〇〇測量設計(株) 〇〇県営土地改良区用水路ほ場整備基本計画他5件 平成23年度

省略 } _____

_____ 平成25年度

_____ 平成26年度

_____ 平成27年度 平成27年度

_____ 平成28年度 平成28年度

_____ 平成29年度 平成29年度

_____ 平成30年度 平成30年度

計 7年 計 4年

【記入の際の注意事項】

①実務経験は1欄に1ヶ年分を記入し、実務期間が7年以上あることを分かるように記入してください。また、可能な限り新しい実務経験を優先してお書き下さい。(書ききれない場合は、複数枚に記入してください)

②実務期間の合計年数を受験申込書(様式1号)の実務経験年数に記入してください。(実際の実務経験年数の合計)

③業務名で「農業土木分野の事業」であることや「業務内容」が判別し難い場合は、発注者(部署)および主たる業務の内容が分かるように記入してください。

実務経歴がスタートした年。大学院修了者は、大学院、専攻コース、修了年を1行目に記載してください。本記入例では、「省略」期間を除いた7年間の実務経歴と業務指導者の下での実務期間が記載されている。

実務経歴が7年以上ある場合でも、業務内容により経歴として認められない場合があることを想定して、多めにご記入ください。

入社してから昨年度までの実務経験年数

証明を受けて下さい。な...証明印のないものは無効

...を記載して下さい。記...ものは無効となります。

...大学院...目に記して下さい。

...分野(用...備、農地防災保全、

...その他農...する調査、計画、設

計...等の実務経験です。

・実務...の実績を記入し、そのうち指導業務者の下で実施した業務の実務に従事した年度を合わせて記入する。(様式1号受験申込書の実務経験年数と同年数を記入)